

営大通信

年度
学校卒業式

第 50 号

令和5年3月28日

発行

青森県営農大学校興農会

会長 小川 広徳

青森県営農大学校後援会

会長 下山 一久

青森県上北郡七戸町字大沢48-8

TEL 0176-62-3111



令和4年度 卒業式

令和5年
3月4日



卒業生代表 誓いの言葉

3月4日、令和4年度卒業式を挙行之、畑作園芸課程18名、果樹課程13名、畜産課程3名、合計34名が2年間の学業を終え営農大学校を巣立ちました。

三村知事をはじめ来賓や保護者の御臨席のもと、卒業証書及び学生表彰の各賞が授与され、長内校長から、「営農大学校で培った課題解決のための実践力、創造力を遺憾なく発揮し、仲間との友情、ネットワークを活用しながら、新たな分野、新たな取組に果敢に挑戦してほしい」と式辞がありました。

在校生を代表して畑作園芸課程の小笠原希さんから、卒業生に対する感謝とエールの言葉が、卒業生を代表して畑作園芸課程の豊川善大さんから、「生活を共に協力し合った仲間、これまで支援してくれた保護者への感謝の気持ちを忘れることなく、地域社会に貢献できるよう努力していく」と誓いの言葉がありました。

卒業生は、社会人としてそれぞれの道を歩みますが、本校で学んだことや仲間を大切に、大いに活躍することを期待しています。

各賞受賞者

知事賞	豊川 善大	(畑作園芸課程)
校長賞	吉田 瑠那	(畑作園芸課程)
	北川 愛	(果樹課程)
	沢目 桃香	(畜産課程)
功労賞	丹代 学澄	(畑作園芸課程)
	中鉢 華乃子	(畑作園芸課程)
	倉館 蓮	(果樹課程)
精励賞	今井 青空	(畑作園芸課程)
	傳法谷 楨起	(畑作園芸課程)
	塩崎 和輝	(果樹課程)
皆勤賞	折館 有希菜	(畑作園芸課程)
	前田 祥寿	(畑作園芸課程)
	斎藤 剛志	(果樹課程)
	齋藤 朝陽	(畜産課程)

全国農業大学校協議会長賞

中鉢 華乃子 (畑作園芸課程)

東日本農業大学校等協議会長賞

折館 有希菜 (畑作園芸課程)

小向 優希 (畑作園芸課程)

農業大学校同窓会全国連盟会長賞

中堤 康仁 (畑作園芸課程)

東日本農業大学校等同窓会連盟会長賞

秋元 海慶 (畑作園芸課程)

青森県農業経営士会長賞

豊川 善大 (畑作園芸課程)

興農会長賞

中田 宗太郎 (果樹課程)

北川 愛 (果樹課程)

後援会長賞

木村 匠 (畑作園芸課程)

野上 流聖 (畑作園芸課程)

水梨 魁士 (畑作園芸課程)

小絲 健右 (果樹課程)

神 瑞喜 (果樹課程)

校内プロジェクト 発表会・ 意見発表会

令和4年
12月21～22日



各賞受賞者の面々



発表する学生

令和4年12月21～22日、校内プロジェクト発表会・意見発表会が行われ、2学年の学生は、自ら課題を設定し1年近く取り組んだプロジェクト学習の成果を、1学年の代表学生は農業に対する想いや将来の経営計画等に関する意見を発表しました。

学生たちは前日まで熱心に発表練習に取り組み、どの学生からも努力や情熱、真剣さが伝わってきました。発表をしなかった1学年も、司会進行やタイムキーパー、パソコン操作等の役割をこなし、2学年をサポートしました。この経験を糧にこれからも社会人として、学生として学び続けていってほしいと思います。

〈プロジェクト発表受賞者〉

区 分	課程名	氏 名	課題名
最優秀賞	畑作園芸	中鉢華乃子	子どもが野菜を無理なく食べることができる家庭向けのレシピと米粉ピザの開発
優 秀 賞	畜 産	沢目 桃香	使用済飼料袋の敷料への活用の提案
	畑作園芸	丹代 学澄	大玉トマトと桃の規格外品を利用した加工品の開発
努 力 賞	畑作園芸	小向 優希	夏秋いちごにおける品種比較
		折館有希菜	米の消費拡大を目指したふりかけの開発
	果 樹	北川 愛	収益アップと顧客の獲得につながるりんごの販売方法の検討

〈意見発表受賞者〉

区 分	課程名	氏 名	課題名
最優秀賞	畑作園芸	米田 拓史	農業に夢見る30代の挑戦と覚悟
優 秀 賞		大村 拓士	これからの私のやり方



1学年には初めての大舞台



分かりやすい説明を心がけた発表

**東日本
プロジェクト発表会**
令和5年
1月17～18日

令和5年1月17～18日に、福島県農業総合センターにおいて、「東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」が開催され、本校から校内プロジェクト発表会・意見発表会で最優秀賞と優秀賞を受賞した5名が参加し、発表を行いました。

この発表会は、北海道・東北ブロックの農業大学校6校の学生が全国大会への出場をかけて、プロジェクト活動の成果等を競い合うもので、どの発表も素晴らしく甲乙付けがたい内容でした。

当校の学生は、惜しくも入賞を逃しましたが、北海道・東北の仲間の発表に刺激を受けていました。

3年ぶりの研修旅行

～京都、大阪、和歌山へ～

令和5年
2月20～24日



吹雪の青森から無事京都に到着！



湯浅町で
本場の醤油
づくりを体験



湯浅ワイナリーを見学
もちろん試飲も！

令和5年2月20～24日、新型コロナウイルスにより中止してきた研修旅行が、3年ぶりに実施され、2学年の学生が近畿地方(京都府、大阪府、和歌山県)を巡りました。

研修旅行初日、青森が吹雪の中、揺れる飛行機が無事に大阪伊丹空港に降り立った時は、皆ほっとしました。

最初に訪れた天橋立笠松公園でも雪が降っていましたが、晴れ間には天橋立がきれいに見えました。

2～3日目は、USJをメインとした自由行動でしたが、点呼時間の22:00まで元気に自主研修を楽しんでいました。

4日目の和歌山県では、醤油発祥の地である湯浅町(ゆあさちょう)で醤油工場とワイナリーの見学をしました。湯浅町は古い町並みを保存し、伝統的な古式醤油づくりと、近代的なワインづくりが魅力的な町でした。

今回の研修旅行の大きなこだわりは4泊のうち2泊を温泉宿にしたことです。

最終宿泊日は、学生たっけの希望で、和歌山県那智勝浦町にある「ホテル浦島」に宿泊しました。帰るのを忘れるお風呂という洞窟風呂「忘帰洞」が有名で、是非行ってみたいという学生の提案から実現しました。渡り船で行く隔離された巨大ホテルであり、部屋から洞窟風呂まで1200歩必要でしたが、湯質、湯量ともに素晴らしい温泉でした。

2学年は新型コロナウイルスにより学校行事に制約を強いられた2年間を過ごしましたが、最後に良い思い出ができました。



渡り船でこだわりの宿へ



念願のホテルを満喫

青年農業者会議 でも大活躍！

令和5年
2月3日



校長より賞状を授与された折館さん



校内発表会の時
よりも、磨きの
かかった発表

令和4年度青森県青年農業者会議が青森市で3年ぶりに対面形式で開催され、県内の農業青年と本校学生が参加し、プロジェクト活動の成果や日頃農業について考えている意見を発表しました。

本校からは校内プロジェクト発表会・意見発表会で努力賞を受賞した畑作園芸課程2学年の折館有希菜さんと小向優希さんがプロジェクト発表を行いました。

折館さんは「米の消費拡大を目指したふりかけの開発」と題し、緑黄色野菜が入ったふりかけの開発とアンケート結果について発表し、優秀賞（青森県青年農業士会長賞）を受賞しました。



【営大祭 令和4年10月29～30日】

新築の農具庫で農産物販売。
2日間で約1500人の来場がありました。



【りんご剪定講習会 令和5年1月23日】

農業経営士の成田毅氏を講師に剪定講習会を開催し、剪定技術の習得に努めました。

学校での ヒトコマ



【無人ヘリ講習

令和4年10～11月】

2学年4名が産業用無人ヘリコプター技能認定の取得を目指して頑張りました。



【フォークリフト講習

令和5年2月28日～3月1日】

フォークリフト運転技能講習会に1学年38名が参加し、資格を取得しました。



【けいらんづくりに奮闘

令和4年12月12日】

地域食材論の一環で、2学年が青森県の郷土料理の作り方、それにまつわる行事を調べ調理実習を行いました。

〈R4卒業生進路状況〉

(単位：人)

就 農	就 職				進 学	合 計
		雇用就農	農業関連企業	農協・農業団体		
9	24	8	12	4	1	34